

シラバス

理系科学英語夏期海外研修

履修対象

理学部 1～4 年生（他学部学生・大学院生も認めることがある）

開講時期

平成 28 年 8 月～9 月（4 週間）

目的

本科目の受講生はアメリカの Saint Mary's College of California で開講される 4 週間の理系科学英語研修に参加する。研修では、プレゼンテーション力および英語による真のコミュニケーション力の向上に注力し、研究者やエンジニアに必要なグローバルな素養を身に付けることを目的とする。各受講生に対し、Saint Mary's 大学に学ぶ同世代の学生がメンター／パートナー（Science Buddy）となり、学習や生活のサポートを行う。また、現地での滞在先は一般家庭でのホームステイとする。このように、常にネイティブの英語に囲まれることで、英語によるコミュニケーション力を向上させる。

履修条件・受講条件

50 万円程度の自己負担が必要。

講義内容

事前学修

○渡航前セミナー・オリエンテーション 2016 年 5 月～8 月

渡航前に大阪大学において海外生活や英語で授業を受けるために最低限必要な予備知識、健康や安全管理、異文化コミュニケーション等について学ぶ。

[3 時間（1 時間×3 回）]

○プレ英語レッスン

ネイティブの講師により海外生活に必要な実践的英語レッスンを実施する。

[6 時間（予定）]

海外研修

○Saint. Mary's College of California での英語研修 2016 年 8 月～9 月（4 週間）

語学および学部レベルの科学の講義

フィールドトリップ（博物館見物など）

地元高校生との交流

プレゼンテーションの講義

参加者全員が科学のトピックスについて英語でプレゼンテーションを行う。

[英語研修：100 時間（15 日×6～7 時間）、自主学習：30 時間（15 日×2 時間）]

事後学修

○帰国後報告会 帰国後 1 週間以内

ファイナルプレゼンテーションの内容を再度英語で発表
研修の成果を英語で報告（研修レポートの提出を含む）

[3 時間]

その他

○TOEIC または TOEFL の受験（推奨）

海外研修参加前と参加後の英語力の差を自己確認するため、TOEIC または TOEFL の受験を各自で行うことを推奨する。

学修時間計 142 時間

授業計画

講義内容を参照

成績評価

セントメリーズ大学にて講義およびファイナルプレゼンテーションを修了した学生の評価を達成度に応じて現地の教員が行う。帰国後に、理学研究科の国際交流委員が審査員となり、帰国報告会を実施し、発表内容について評価する。そして、渡航前に設定した目標の達成度を数値化する。

派遣先での成績 40%、報告会の成績 60%を併せて最終成績とする。最終成績が 60%に満たなかった学生については、修了単位を付与しない。